

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2002-158989

(43)Date of publication of application : 31.05.2002

(51)Int.Cl.

H04N 7/173

(21)Application number : 2000-352392

(71)Applicant : BRANDO:KK

(22)Date of filing : 20.11.2000

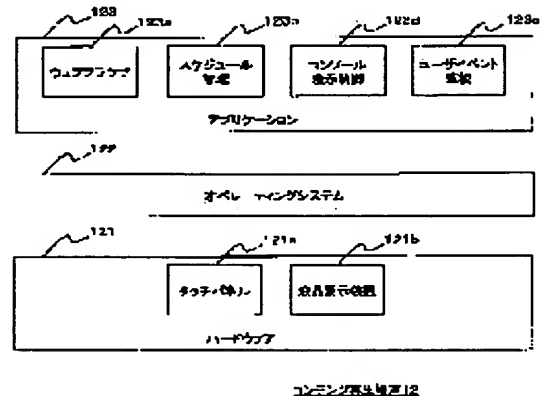
(72)Inventor : MAKINO JUN
NAKAMURA YOSHINOBU
NEGAMI TAKESHI
TSUDA YOSHIHIDE

(54) UNIT AND METHOD FOR REPRODUCING CONTENTS

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To harmonize contents being reproduced according to a schedule with contents being reproduced based on the select operation of a user.

SOLUTION: When an arbitrary position in contents reproduction area A is pointed during reproduction of a promotion contents, interactive contents corresponding to the promotion contents are reproduced. When a selected object area B in a console area B is pointed, interactive contents corresponding to a selected object are reproduced. When an eventless state sustains for a specified time during reproduction of the interactive contents, a transition is made to an idling state. When a reproduction start time of next contents is reached subsequently according to a schedule, a corresponding URL is delivered from a schedule management section 123b to a Web browser 123a to bring about a promotion content reproduction mode.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 21.11.2000

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number] 3448709

[Date of registration] 11.07.2003

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's]

THIS PAGE BLANK (USPTO)

decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

THIS PAGE BLANK (USPTO)

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号
特開2002-158989
(P2002-158989A)

(43) 公開日 平成14年5月31日 (2002.5.31)

(51) Int.Cl.⁷

H 0 4 N 7/173

識別記号

6 4 0

F I

H 0 4 N 7/173

テーマコード* (参考)

6 4 0 A 5 C 0 6 4

審査請求 有 請求項の数19 O L (全 13 頁)

(21) 出願番号 特願2000-352392 (P2000-352392)

(22) 出願日 平成12年11月20日 (2000. 11. 20)

(71) 出願人 500319583

株式会社ブランドゥ

東京都渋谷区東3丁目16番3号

(72) 発明者 牧野 純

東京都渋谷区東3丁目16番3号 株式会社
ブランドゥ内

(72) 発明者 中村 好伸

東京都渋谷区東3丁目16番3号 株式会社
ブランドゥ内

(74) 代理人 100086531

弁理士 澤田 俊夫 (外2名)

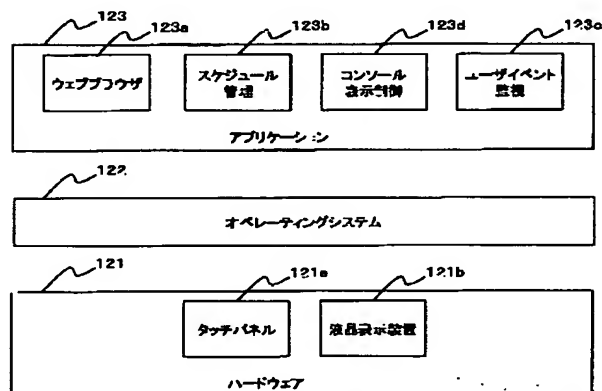
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 コンテンツ再生装置および方法

(57) 【要約】

【課題】 スケジュールにしたがって再生するコンテンツとユーザの選択操作に基づいて再生するコンテンツとを調和させる。

【解決手段】 プロモーションコンテンツ再生時に、コンテンツ再生領域Aの任意の位置にポインティングが行われると、プロモーションコンテンツに対応するインタラクティブコンテンツが再生される。コンソール領域Bの選択オブジェクト領域にポインティングが行われると、選択オブジェクトに対応したインタラクティブコンテンツが再生される。インタラクティブオブジェクト再生時に所定時間イベントがない状態が続くとアイドルリング状態に移行する。この後、スケジュールにしたがってつぎのコンテンツの再生開始時刻が到来すると、スケジュール管理部123bから対応するURLがウェブブラウザ123aに送られ、プロモーションコンテンツ再生モードとなる。



コンテンツ再生装置12

【特許請求の範囲】

【請求項1】 ユーザの操作と無関係な予め定められたコンテンツ再生スケジュールを記憶する手段と、上記コンテンツ再生スケジュールにしたがって複数のコンテンツをコンテンツ再生画面に順次に再生する手段と、

ユーザの操作にしたがってコンテンツを選択する手段と、

選択されたコンテンツを、上記コンテンツ再生画面に再生されているコンテンツに代えて、上記コンテンツ再生画面に再生する手段とを有し、

上記選択されたコンテンツの再生が終了したのちに、上記コンテンツ再生画面に上記コンテンツ再生スケジュールにしたがったコンテンツの再生を再開することを特徴とするコンテンツ再生装置。

【請求項2】 コンテンツ再生画面と選択操作画面とを同時に表示可能なコンテンツ再生装置において、コンテンツ再生スケジュールを記憶する手段と、

上記コンテンツ再生スケジュールにしたがって複数のコンテンツを上記コンテンツ再生画面に順次に再生する手段と、

上記選択操作画面に対するユーザの操作にしたがってコンテンツを選択する手段と、

選択されたコンテンツを、上記コンテンツ再生画面に再生されているコンテンツに代えて、上記コンテンツ再生画面に再生する手段とを有し、

上記選択されたコンテンツの再生が終了したのちに、上記コンテンツ再生画面に上記コンテンツ再生スケジュールにしたがったコンテンツの再生を再開することを特徴とするコンテンツ再生装置。

【請求項3】 上記ユーザの操作にしたがって選択され再生されたコンテンツに対するユーザの操作に基づいて、新たなコンテンツが選択される請求項2記載のコンテンツ再生装置。

【請求項4】 上記コンテンツ再生スケジュールにしたがって所定のコンテンツが再生されているときに上記コンテンツ再生画面に対してユーザの操作が行われたときに上記所定のコンテンツに対応するコンテンツを再生する請求項2または3記載のコンテンツ再生装置。

【請求項5】 上記所定のコンテンツに対応するコンテンツを上記所定のコンテンツに代えて上記コンテンツ再生画面に再生する請求項4記載のコンテンツ再生装置。

【請求項6】 上記所定のコンテンツに対応するコンテンツは、上記選択操作画面に対するユーザの操作により開始される一連のユーザの操作により選択されるコンテンツである請求項2、3、4または5記載のコンテンツ再生装置。

【請求項7】 上記コンテンツ再生スケジュールにしたがって再生される複数のコンテンツは番組コンテンツおよび広告コンテンツのいずれかであり、上記所定のコン

テンツは上記番組コンテンツである請求項5または6記載のコンテンツ再生装置。

【請求項8】 所定のコンテンツ再生スケジュールにしたがって複数のコンテンツをコンテンツ再生画面に再生する手段と、

ユーザの操作に基づいてユーザの選択したコンテンツを、上記コンテンツ再生画面に表示されているコンテンツに代えて、上記コンテンツ再生画面に再生する手段と、

上記ユーザの選択したコンテンツの再生が終了したときに、つぎに再生タイミングが到来するコンテンツの再生開始時点まで、所定のコンテンツを上記コンテンツ再生画面に再生する手段と、

上記つぎに再生タイミングが到来するコンテンツの再生開始時点から、上記所定のコンテンツに代えて、つぎに再生タイミングが到来するコンテンツを上記コンテンツ再生画面に再生する手段とを有することを特徴とするコンテンツ再生装置。

【請求項9】 上記所定のコンテンツ再生スケジュールは時刻により設定されている請求項8記載のコンテンツ再生装置。

【請求項10】 上記コンテンツ再生画面と並んで再生されるコンテンツ選択画面に対するユーザの操作に基づいてコンテンツが選択される請求項8または9記載のコンテンツ再生装置。

【請求項11】 上記所定のコンテンツはユーザに対して待ち時間中であることを表示する内容を含む請求項8、9または10記載のコンテンツ再生装置。

【請求項12】 他のコンテンツ再生装置とともに用いられ上記他のコンテンツと同一のコンテンツ再生スケジュールにしたがって同期して複数のコンテンツを再生するコンテンツ再生装置。

【請求項13】 請求項1～11のいずれかに記載のコンテンツ再生装置を複数配置し、複数の上記コンテンツ再生装置の上記コンテンツ再生スケジュールを同期させることを特徴とするコンテンツ再生装置の再生制御方法。

【請求項14】 コンテンツ再生スケジュールを記憶するステップと、

上記コンテンツ再生スケジュールにしたがって複数のコンテンツをコンテンツ再生画面に順次に再生するステップと、

ユーザの操作にしたがってコンテンツを選択するステップと、

選択されたコンテンツを、上記コンテンツ再生画面に再生されているコンテンツに代えて、上記コンテンツ再生画面に再生するステップとを有することを特徴とするコンテンツ再生方法。

【請求項15】 コンテンツ再生画面と選択操作画面とを同時に表示可能なコンテンツ再生方法において、

コンテンツ再生スケジュールを記憶するステップと、上記コンテンツ再生スケジュールにしたがって複数のコンテンツを上記コンテンツ再生画面に順次に再生するステップと、

上記選択操作画面に対するユーザの操作にしたがってコンテンツを選択するステップと、
選択されたコンテンツを、上記コンテンツ再生画面に再生されているコンテンツに代えて、上記コンテンツ再生画面に再生するステップとを有することを特徴とするコンテンツ再生方法。

【請求項16】 所定のコンテンツ再生スケジュールにしたがって複数のコンテンツをコンテンツ再生画面に表示するステップと、

ユーザの操作に基づいてユーザの選択したコンテンツを、上記コンテンツ再生画面に表示されているコンテンツに代えて、上記コンテンツ再生画面に表示するステップと、

上記ユーザの選択したコンテンツの表示が終了したときに、つぎに再生タイミングが到来するコンテンツの再生開始時点まで、所定のコンテンツを上記コンテンツ再生画面に表示するステップと、

上記つぎに再生タイミングが到来するコンテンツの再生開始時点から、上記所定のコンテンツに代えて、つぎに再生タイミングが到来するコンテンツを上記上記コンテンツ再生画面に表示するステップとを有することを特徴とするコンテンツ再生方法。

【請求項17】 コンテンツ再生スケジュールを記憶するステップと、

上記コンテンツ再生スケジュールにしたがって複数のコンテンツをコンテンツ再生画面に順次に再生するステップと、

ユーザの操作にしたがってコンテンツを選択するステップと、

選択されたコンテンツを、上記コンテンツ再生画面に再生されているコンテンツに代えて、上記コンテンツ再生画面に再生するステップとをコンピュータに実行させるために用いることを特徴とするコンテンツ再生用コンピュータ・プログラム。

【請求項18】 コンテンツ再生画面と選択操作画面とを同時に表示可能にするコンテンツ再生用コンピュータ・プログラムにおいて、

コンテンツ再生スケジュールを記憶するステップと、
上記コンテンツ再生スケジュールにしたがって複数のコンテンツを上記コンテンツ再生画面に順次に再生するステップと、

上記選択操作画面に対するユーザの操作にしたがってコンテンツを選択するステップと、

選択されたコンテンツを、上記コンテンツ再生画面に再生されているコンテンツに代えて、上記コンテンツ再生画面に再生するステップとをコンピュータに実行させる

ために用いられることを特徴とするコンテンツ再生用コンピュータ・プログラム。

【請求項19】 所定のコンテンツ再生スケジュールにしたがって複数のコンテンツをコンテンツ再生画面に表示するステップと、

ユーザの操作に基づいてユーザの選択したコンテンツを、上記コンテンツ再生画面に表示されているコンテンツに代えて、上記コンテンツ再生画面に表示するステップと、

上記ユーザの選択したコンテンツの表示が終了したときに、つぎに再生タイミングが到来するコンテンツの再生開始時点まで、所定のコンテンツを上記コンテンツ再生画面に表示するステップと、

上記つぎに再生タイミングが到来するコンテンツの再生開始時点から、上記所定のコンテンツに代えて、つぎに再生タイミングが到来するコンテンツを上記上記コンテンツ再生画面に表示するステップとをコンピュータに実行させるために用いることを特徴とするコンピュータ・プログラム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】この発明は、所定のスケジュールにしたがってコンテンツを再生する技術に関し、とくにユーザが選択したコンテンツも併せて再生できるようにしたものである。

【0002】

【背景の技術】本出願人は、ドラッグストア等の小売店舗において商品販売促進用のコンテンツを売り場のディスプレイに再生表示することを提案している。この提案では、例えば、コンテンツ管理側から各店舗へ衛星通信やインターネットの通信チャネルを用いてコンテンツおよびスケジュールを予め送信し、スケジュールにしたがってコンテンツを再生するようにしている。コンテンツは例えばHTML（ハイパーテキストマークアップ言語）やXML（拡張可能マークアップ言語）で準備されたテキスト、画像、音声ファイル等を含んでいる。売り場の商品との関係や時間帯に応じて所望のコンテンツを選択することにより、商品の販売を促進することが可能になる。

【0003】ところで、上述の小売店舗の売り場のディスプレイのみでなく、レストラン、喫茶店、カラオケ店等のテーブル等に設けたディスプレイにも上述と同様にスケジュールに即してコンテンツを再生して、商品やサービスに関する情報を供給して広告を行うことも考えられる。

【0004】しかしながら、レストラン等に配置されたディスプレイは、一方的にコンテンツを提供する目的のみでなく、インタラクティブにコンテンツを提供するのに向いている。例えば、運勢の情報、天気予報の情報、その他種々のジャンルの情報を、ユーザの選択の下

に提供し、また、そのハードコピーを印刷出力することも望まれる。さらに、情報源のインターネットに接続して所望の情報を取得したい場合もある。したがって、レストラン等では、スケジュールにしたがって再生されるコンテンツとユーザの操作に基づいて再生される、インタラクティブなコンテンツとをどのように調和させるかが課題となる。

【0005】

【発明が解決する課題】この発明は、以上の事情を考慮してなされたものであり、スケジュールに従って再生されるべきコンテンツとユーザのインタラクティブな操作に基づいて選択されるコンテンツとの間に調和を持たせて両コンテンツを再生することができるコンテンツ再生技術を提供することを目的としている。

【0006】

【課題を解決するための手段】この発明によれば、上述の目的を達成するために、特許請求の範囲に記載のとおり構成を採用している。ここでは、発明を詳細に説明するのに先だって、特許請求の範囲の記載について補充的に説明を行なっておく。

【0007】すなわち、この発明の一側面によれば、上述の目的を達成するために、コンテンツ再生装置に：ユーザの操作と無関係な予め定められたコンテンツ再生スケジュールを記憶する手段と；上記コンテンツ再生スケジュールにしたがって複数のコンテンツをコンテンツ再生画面に順次に再生する手段と；ユーザの操作にしたがってコンテンツを選択する手段と；選択されたコンテンツを、上記コンテンツ再生画面に再生されているコンテンツに代えて、上記コンテンツ再生画面に再生する手段とを設けるようにしている。そして、上記選択されたコンテンツの再生が終了したのちに、上記コンテンツ再生画面に上記コンテンツ再生スケジュールにしたがったコンテンツの再生を再開する。

【0008】この構成においては、一方的なコンテンツの提供とインタラクティブなコンテンツの提供とを調和させて提供することができる。

【0009】コンテンツ再生装置を、コンテンツ再生画面と選択操作画面とを同時に表示可能とし、選択操作画面に対するユーザの操作によりインタラクティブなコンテンツが再生開始されてもよい。

【0010】また、上記コンテンツ再生スケジュールにしたがって所定のコンテンツが再生されているときに上記コンテンツ再生画面に対してユーザの操作が行われたときに上記所定のコンテンツに対応するコンテンツを再生するようにしてもよい。

【0011】この場合、再生されているコンテンツ自体から新たにコンテンツを選択できる。

【0012】コンテンツは、テキスト情報、音声情報、画像情報等であり、HTML、XML、BML（ブロードキャストマークアップ言語）等種々の言語で記述可能

である。コンテンツは、計算機資源内のバス、構内通信網（LAN）、広域通信網、インターネット、衛星通信チャネル等種々の伝送路を用いて伝送され、再生される。コンテンツの再生は、種々の再生手段を採用することができ、表示装置としては、液晶表示装置、CRT、プラズマディスプレイ等を用いることができる。

【0013】また、この発明の他の側面によれば、上述の目的を達成するために、コンテンツ再生装置に：所定のコンテンツ再生スケジュールにしたがって複数のコンテンツをコンテンツ再生画面に再生する手段と；ユーザの操作に基づいてユーザの選択したコンテンツを、上記コンテンツ再生画面に表示されているコンテンツに代えて、上記コンテンツ再生画面に再生する手段と；上記ユーザの選択したコンテンツの再生が終了したときに、つぎに再生タイミングが到来するコンテンツの再生開始時点まで、所定のコンテンツを上記コンテンツ再生画面に再生する手段と；上記つぎに再生タイミングが到来するコンテンツの再生開始時点から、上記所定のコンテンツに代えて、つぎに再生タイミングが到来するコンテンツを上記コンテンツ再生画面に再生する手段とを設けるようにしている。

【0014】この構成においては、一方的なコンテンツの提供とインタラクティブなコンテンツの提供とを調和させて提供することができ、とくに、両コンテンツの繋ぎ目がスムーズに移行するというメリットがある。

【0015】なお、この発明は装置またはシステムとして実現できるのみでなく、方法としても実現可能である。また、そのような発明の一部をソフトウェアとして構成することができることはもちろんである。またそのようなソフトウェアをコンピュータに実行させるために用いるソフトウェア製品もこの発明の技術的な範囲に含まれることも当然である。

【0016】

【発明の実施の形態】以下、この発明の実施例について説明する。

【0017】図1は、この発明を例えばファミリーレストラン内の店舗システムに適用した実施例を全体として示しており、この図において、店舗10には、衛星通信受信装置101、ウェブサーバ102、アプリケーションサーバ103、データベース管理システム104、プロキシサーバ105、チェックアウトサーバ106、プリントサーバ107、コンテンツ再生端末120₁～120_N等が設けられている。店舗10内のコンピュータ資源はLAN108に接続されている。

【0018】衛星通信受信装置101は、コンテンツ提供サイト20のコンテンツ送信サーバ201からのコンテンツを衛星通信チャネル（送信設備202、通信衛星50、受信設備203）を介して受け取るものである。受け取ったコンテンツはウェブサーバ102のコンテンツ格納部102aに格納される。またプロキシサーバ1

05は、コンテンツ再生端末120₁～120_N等からのインターネット30へのアクセスを代理要求するものである。コンテンツ再生端末120₁～120_N等はプロキシサーバ105を介してインターネット30上に公開されているウェブサーバ301、302等からウェブページを取得して再生することができる。

【0019】店舗10内の配置として、コンテンツ再生端末120₁～120_Nは接客領域10aのテーブル上に配置される。好ましくはすべてのテーブルに1つずつ配置される。衛星通信受信装置101、ウェブサーバ102、アプリケーションサーバ103、データベースマネジメントシステム104、プロキシサーバ105、チェックアウトサーバ106、プリントサーバ107等は、店舗管理領域に配置される。チェックアウトサーバ106はレシートプリンタ（図示しない）を具備し、POS等の決済装置とともに用いられることが好ましい。プリントサーバ107は、カラープリンタ107aを具備し、コンテンツ再生端末120₁～120_N等からのプリントジョブを実行する。

【0020】ウェブサーバ102は、HTTP（ハイパーテキストトランスファプロトコル）プロトコルにしたがってクライアント（コンテンツ再生端末120₁～120_N等）から要求を受け取り、要求に応じたHTML文書（XML文書等でもよい）をクライアントに返す。アプリケーションサーバ103は、ウェブサーバ102を介してクライアントから送られたプログラム名および引数に基づいて各種の処理を実行するものである。アプリケーションサーバ103に代えてウェブサーバ102のCGI（コモンゲートウェイインタフェース）のプログラムを用いてもよい。データベース管理システム104は各種のデータベースを管理するものである。データベースは、変更情報の検索に用いる各種の情報、例えば会員情報や利用履歴等を保持する。

【0021】なお、図では、ルータ、DNS（ドメインネームシステム）サーバ、SMTP（シンプルメールトランスファプロトコル）サーバおよびPOP3（ポストオフィスプロトコルバージョン3）サーバ等を示していないが、必要に応じて用いられることはもちろんである。なお、各種サーバは、可能である場合には1つホストに実装しても良い。

【0022】図2は、コンテンツ再生端末120₁～120_Nの構成を概略的に示しており、この図において、コンテンツ再生端末120₁～120_Nの各々は、コンピューティング・ハードウェア121、オペレーティングシステム122、アプリケーション123等を含んで構成されている。コンピューティング・ハードウェア121は、通常のパーソナルコンピュータ、パーソナルデジタルアシスタント等をベースにしたものである。コンピューティング・ハードウェア121は、とくに、タッチパネル121aおよび液晶表示装置121bを具備し

ている。アプリケーション123にはウェブブラウザ123a、スケジュール管理部123b、ユーザイベント監視部123c、コンソール表示制御部123d等が含まれる。

【0023】図3は、コンテンツ再生端末120₁～120_Nの液晶表示装置121bの外観概略を示しており、この図において、液晶表示装置121bは、上部にコンテンツ再生領域Aを有し、下部にコンソール領域Bを有している。液晶表示装置121bにはこれを覆うタッチパネル121aが破線で示すように設けられ、タッチパネル121aを用いてコンテンツ再生領域Aやコンソール領域Bをポインティングすることができる。

【0024】図4は、コンテンツ再生端末120₁～120_N（これらを代表してコンテンツ再生端末120ということもある）の各機能を模式的に示しており、この図において、コンテンツ再生端末120₁～120_Nの各々は、ウェブブラウザ123a、スケジュール管理部123b、ユーザイベント監視部123c、コンソール表示制御部123d等を含んでいる。スケジュール管理部123bは、スケジュールデータに基づいてコンテンツのネットワークアドレスをウェブブラウザに供給する。スケジュールデータは例えば図6に示すようなコンテンツ再生開始時刻、コンテンツのURL（ユニフォームリソースロケータ）の対からなるものである。ウェブブラウザ123aはスケジュール管理部123bからURLを受けとってGET等の閲覧要求を用いて該当するコンテンツを店舗内部のウェブサーバ102や外部のウェブサーバ301、302から取り出して再生する。このようにスケジュールに基づいて再生されるコンテンツのことを以下では、便宜上、プロモーションコンテンツと呼ぶこともある。ユーザイベント監視部123cはタッチパネル121aを介して入力されてくるイベント（ポインティング情報）を受けとって種々のルーチンを起動して各種の制御を行う。所定のシーケンスデータに基づいてコンソール画面を順次生成してコンソール表示制御部123dに渡し、コンソール領域Bの表示を遷移させる。また、ユーザイベントに基づいてスケジュール管理部123bからURLがウェブブラウザ123aに渡されるのを禁止する。この禁止状態は、所定時間だけユーザイベントがない場合に解除される。ウェブブラウザ123aはユーザイベント監視部123cからURLを受け取った場合もGET等の閲覧要求を用いて該当するコンテンツを店舗内部のウェブサーバ102や外部のウェブサーバ301、302から取り出して再生する。このようにユーザのイベントに基づいてインタラクティブに再生される再生されるコンテンツのことを以下では、便宜上、インタラクティブコンテンツと呼ぶこともある。

【0025】ウェブブラウザ123aからの再生出力は液晶表示装置121bのコンテンツ再生領域Aに再生さ

れ、コンソール表示制御部123dからの再生出力は液晶表示装置121bのコンソール領域Bに再生される。

【0026】図5は、コンテンツ再生端末120_i～120_Nの動作状態の遷移を示している。図5に示すように、プロモーションコンテンツを再生している状態で、スケジュールにしたがって再生開始要求（スケジュールイベント）が発生すると、つぎのプロモーションコンテンツを再生する。また、この状態で、コンテンツ再生領域Aの任意の位置にポインティングが行われると、プロモーションコンテンツに対応するインタラクティブコンテンツが再生されるようになる。また、コンソール領域Bの選択オブジェクト領域にポインティングが行われると、選択オブジェクトに対応したインタラクティブコンテンツが再生されるようになる。

【0027】インタラクティブコンテンツが再生されているときに、コンテンツ再生領域Aのアンカー領域またはコンソール領域Bの選択オブジェクト領域が選択されると、アンカー領域または選択オブジェクト領域に対応するインタラクティブオブジェクトが再生される。

【0028】また、インタラクティブオブジェクトが再生されているときに所定時間だけイベントがない状態が続くとアイドル状態に移行する。アイドル状態は、例えば「しばらくお待ちください」というような表示内容のアイドルコンテンツの表示を行うものである。もちろん、対応する画像表示を音声出力を伴っても良い。アイドル状態において、スケジュールにしたがってつぎのコンテンツの再生開始時刻が到来すると、スケジュール管理部123bから対応するURLがウェブブラウザ123aに送られ、プロモーションコンテンツ再生モードとなる。

【0029】さらにこの実施例を詳細に説明する。

【0030】図7は、コンテンツの取得の態様を示しており、この図に示すように、店舗10内のウェブサーバ102のコンテンツがLANを介してアクセスされる。またインターネット30上のウェブサーバ301、302のコンテンツがプロキシサーバ105およびインターネット30を介してアクセスされる。なお、コインシユータ等を用いて課金制御を行い、また、コンテンツへのアクセスログを記録して、チェックアウトサーバ106で課金管理を行うことができる。

【0031】図8は、プロモーションコンテンツの再生動作等を説明するものであり、この図において、スケジュールデータにしたがってプロモーションコンテンツが取り出され再生される(①、②)。スケジュールデータにしたがって以上の動作が繰り返される。プロモーションコンテンツが再生されているときにコンテンツ再生領域Aがポインティングされると、プロモーションコンテンツに対応するインタラクティブコンテンツが取り出されて再生されるようになる。プロモーションコンテンツには、広告コンテンツと、コンソール領域Bで選択す

る番組（インタラクティブコンテンツ）を案内する番組コンテンツがあり、広告コンテンツに対応するインタラクティブコンテンツは、例えば広告主のホームページあるいは特別に用意したウェブページである。これによりインターネット等を利用した商取引を行うことも可能である。番組コンテンツに対応するインタラクティブコンテンツは番組を構成するインタラクティブコンテンツである。

【0032】番組コンテンツを介してインターネット30にアクセスしたときにはユーザに対してそのアクセスログに基づいて課金を行っても良い。広告コンテンツを介してインターネット30にアクセスしたときには広告主または広告依頼者に対してアクセスログにしたがって課金を行っても良い。

【0033】このように、コンテンツ再生領域Aをポインティングするだけで所定のコンテンツを選択して再生することができる。

【0034】図9および図10は、番組を構成するインタラクティブコンテンツの再生を説明するものである。図9において、コンソールの選択オブジェクトをポインティングするとそれに対応したインタラクティブコンテンツが再生され、さらにインタラクティブコンテンツの選択オブジェクト領域をポインティングすることにより他のインタラクティブコンテンツに遷移することができる。この遷移により所定のサービス、たとえば情報の取得やプリントサービスを受けることができる。図9および図10の例では塗り絵を取得することができる。

【0035】図9では、コンソールの「HOME」ボタンを選択して番組の説明を閲覧し、その後、各番組のコンテンツに移行する例を示している。ユーザの操作が所定時間行われなときには（タイムアウト処理）、プロモーション画面に戻る。

【0036】図10では、コンソール領域Bのチャンネル（番組）選択ボタンを用いて番組を選択する場合を示している。この例では、最終的に「キャラクタ3」の「ぬりえ」が選択され、この状態で「印刷」ボタンを選択するとプリントサーバ107にプリントジョブが送られ、「キャラクタ3」の「ぬりえ」がプリンタ107aによりプリントされる。この場合も、ユーザの操作が所定時間行われなときには、プロモーション画面に戻る。

【0037】図11は、コンテンツの一例を示している。図11の例は、「CH. 1」のインタラクティブコンテンツの構成例を示している。この例では、コンテンツはHTMLで記述されている。他のコンテンツも同様である。

【0038】図12はプロモーションコンテンツの再生とインタラクティブコンテンツの再生との間の遷移を示しており、ユーザのイベントが入力されると、直ちに

プロモーションコンテンツの再生に変わってインタラクティブコンテンツの再生が開始される。これに対してインタラクティブコンテンツの再生が、所定期間の無入力状態により、終了されると、アイドルリング状態を経てプロモーションコンテンツの再生に移行する。アイドルリング状態は、後続のプロモーションコンテンツの再生開始時点まで続き、プロモーションコンテンツが途中から開始されるということがない。

【0039】つぎに実施例の動作についてフローチャートを用いてさらに説明する。

【0040】図13は、プロモーションコンテンツの再生動作を示しており、その詳細は以下のとおりである。この処理は、コンテンツの再生開始時刻が到来するたびに起動される。

【ステップS10】：インタラクティブコンテンツまたはアイドルリングコンテンツが再生されているかどうかを判断する。再生されていれば処理を終了する。再生されていない場合にはプロモーションコンテンツの再生が禁止されていないのでステップS11へ進む。

【ステップS11】：再生開始時刻が到来したインタラクティブコンテンツのURLを取り出す。

【ステップS12】：ウェブブラウザ123aにURLを渡す。

【ステップS13】：ウェブブラウザ123aがGET要求でインタラクティブコンテンツを取り出す。

【ステップS14】：取り出したコンテンツを液晶表示装置等で再生する。

【0041】図14は、ユーザの操作（ユーザイベント）に応じてインタラクティブコンテンツが再生されるとき動作を示しており、その詳細は以下のとおりである。この処理はユーザイベントの発生により起動される。

【ステップS20】：ポインティング領域がコンソール領域Bの選択オブジェクト領域の場合にはステップS21へ進みコンテンツ再生領域Aの場合にはステップS24へ進む。それ以外の場合には何もしない。

【ステップS21】：コンソール領域Bの選択オブジェクトに対応するインタラクティブコンテンツを再生する。

【ステップS22】：ユーザイベント監視処理を行う。この処理の詳細は図15を参照して説明する。

【ステップS23】：ユーザイベントに応じてユーザイベント監視処理のルーチンを抜けたら、アンカー領域がポインティングされたかどうかを判別する。アンカー領域がポインティングされていない場合にはステップS22へ戻る。アンカー領域がポインティングされた場合にはステップS24へ進む。

【ステップS24】：アンカー領域に埋め込まれたURLをウェブブラウザ123aに渡す。

【ステップS25】：ウェブブラウザ123aがGET

要求で対応するインタラクティブコンテンツを取り出す。

【ステップS26】：取り出したコンテンツを液晶表示装置121bに表示する。

【ステップS27】：ユーザイベント監視処理（図15参照）を行う。なお、コンソール領域Bの選択オブジェクトがポインティングされたときにも所定のインタラクティブオブジェクトが再生されるが、上述から容易に理解できるので、ここでは便宜上説明を省略した。

【0042】図15は、ユーザイベント監視処理の動作を示しており、その詳細は以下のとおりである。ユーザイベントが入力されたときに起動される。

【ステップS30】：所定時間ユーザイベントが入力されない状態が続いているかどうかを判別する。入力されたときには処理を終了する。入力されないときにはステップS31へ進む。

【ステップS31】：アイドル状態に移行して、アイドルリングコンテンツを再生する。

【ステップS32】：後続のプロモーションコンテンツの再生開始時刻が到来したかどうかを判別し、到来しない場合には、処理を繰返し、到来した場合には図13のスケジュールイベントの処理へ移行する。

【0043】以上で実施例の説明を終了する。

【0044】この実施例によれば、プロモーションコンテンツとインタラクティブコンテンツとを調和させて再生することができる。また、複数のコンテンツ再生端末が同期してプロモーションコンテンツを再生するので、店舗内の音楽や案内放送との調和も容易であり、時間帯に応じたプロモーションコンテンツの選定も可能である。

【0045】なお、この発明は上述の実施例に限定されるものではなくその趣旨を逸脱しない範囲で種々変更が可能である。例えば、上述実施例ではコンテンツ再生領域Aとコンソール領域Bとをタイル状に並べたが、重なるようにしてもよい。コンテンツ再生領域Aにインタラクティブ動作を指示するボタンを設け、このボタン操作によりインタラクティブなコンテンツを再生できるようにしても良い。また、機械的な操作ボタンにより制御を行うようにしてもよい。

【0046】また、スケジュールデータは店舗内のサーバからまたはコンテンツ提供サイトからコンテンツ再生端末に提供し、コンテンツ再生端末のスケジュール管理部で管理するようにしたが、コンテンツ再生端末外にスケジュールデータを保持し、これに基づいてコンテンツをコンテンツ再生端末にプッシュしても良い。この場合、個別にコンテンツを送信しても良いし、マルチキャストやブロードキャストで送信しても良い。コンテンツは例えば放送コンテンツでも良い。

【0047】またスケジュールは絶対時刻や相対時刻で指定することができ、またコンテンツの再生順番を指定

しても良い。また再生を開始する制御情報（生成開始命令）を外部からコンテンツ再生端末に送信して再生開始制御を行うようにしても良い。

【0048】また、実施例ではすべてのプロモーションコンテンツの再生よりインタラクティブコンテンツの再生を優先させたが、所定の規準を設けて、細かく優先制御を行っても良い。例えば、所定のクラスのプロモーションコンテンツについては、所定のインタラクティブコンテンツに対してのみ劣位になり、その他のインタラクティブコンテンツに対しては優先され、継続して当該プロモーションコンテンツが再生されるようにしてもよい。この場合、「しばらくお待ちください」等の表示が行われることが好ましい。

【0049】また、コンテンツ再生端末が配置される場所は、種々選定することができ、ファミリーレストラン等に限定されない。その他のレストラン、喫茶店、カラオケ店にも好適であり、金融機関の店舗、ガソリンステーション、コンビニエンスストア、スーパーマーケット、百貨店、ドラッグストア等の小売店舗にも配置して好適である。公共機関の施設内に配置しても良い。

【0050】また、店舗等の施設内に複数配置することが好ましいが、用途等に応じて1つのみ配置するものでも良い。

【0051】

【発明の効果】以上説明したように、この発明によれば、スケジュールにしたがって再生されるべきコンテンツとユーザの選択により再生されるべきコンテンツとを調和を持って再生させることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】 この発明の実施例を全体として示すシステム図である。

【図2】 上述実施例のコンテンツ再生端末の概要を説明するブロック図である。

【図3】 図2のコンテンツ再生端末の外観概略を説明する図である。

【図4】 図2のコンテンツ再生端末の機能構成を模式的に示すブロック図である。

【図5】 図2のコンテンツ再生端末の動作状態の遷移図である。

【図6】 スケジュールデータを説明する図である。

【図7】 上述実施例のコンテンツ取得態様を説明する図である。

【図8】 上述実施例のプロモーションコンテンツの再生手順を説明する図である。

【図9】 上述実施例のコンソール領域によるインター

ラクティブコンテンツの選択手順を説明する図である。

【図10】 上述実施例のコンソール領域によるインタラクティブコンテンツの選択手順を説明する図である。

【図11】 上述実施例のインタラクティブコンテンツの例を説明する図である。

【図12】 上述実施例のプロモーションコンテンツ再生状態とインタラクティブコンテンツ再生状態との間の遷移を詳細に説明する図である。

【図13】 上述プロモーションコンテンツの再生動作を説明するフローチャートである。

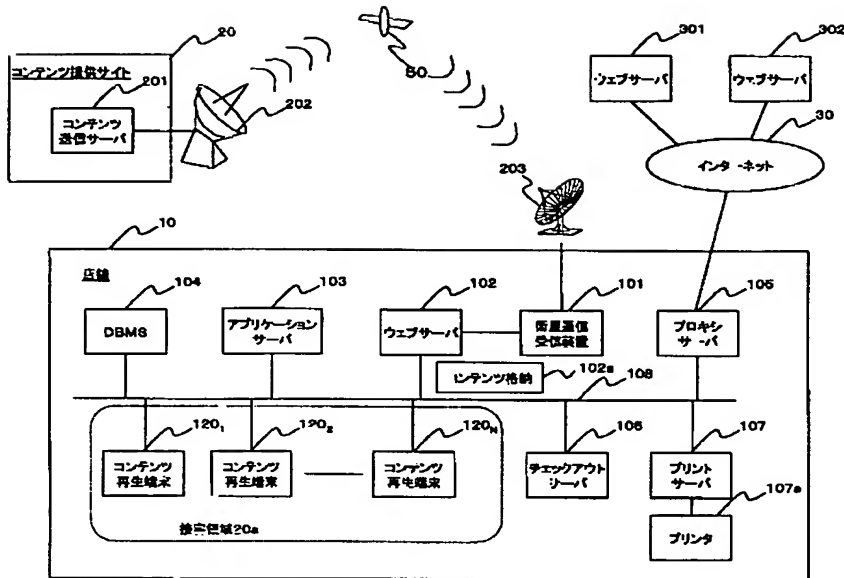
【図14】 ユーザイベント発生時の動作を説明するフローチャートである。

【図15】 ユーザイベント監視処理を説明するフローチャートである。

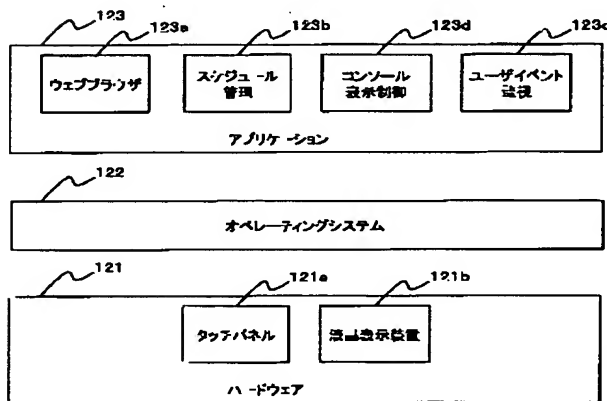
【符号の説明】

- 10 店舗
- 10a 接客領域
- 20 コンテンツ提供サイト
- 30 インターネット
- 50 通信衛星
- 101 衛星通信受信装置
- 102 ウェブサーバ
- 102a コンテンツ格納部
- 103 アプリケーションサーバ
- 104 データベース管理システム
- 105 プロキシサーバ
- 106 チェックアウトサーバ
- 107 プリントサーバ
- 107a カラープリンタ
- 120 コンテンツ再生端末
- 121 コンピューティング・ハードウェア
- 121a タッチパネル
- 121b 液晶表示装置
- 122 オペレーティングシステム
- 123 アプリケーション
- 123a ウェブブラウザ
- 123b スケジュール管理部
- 123c ユーザ入力処理部
- 123d コンソール表示制御部
- 201 コンテンツ送信サーバ
- 202 送信設備
- 203 受信設備
- 301、302 外部のウェブサーバ

【図1】

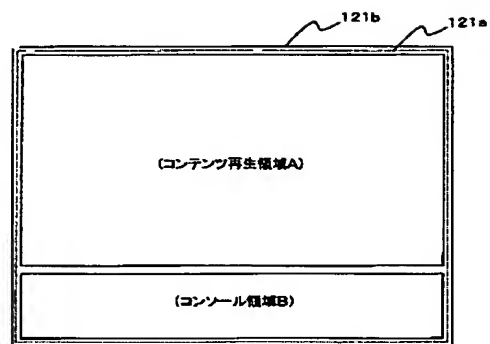


【図2】

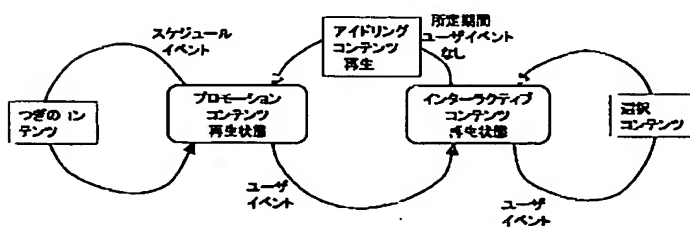


コンテンツ再生端末12

【図3】



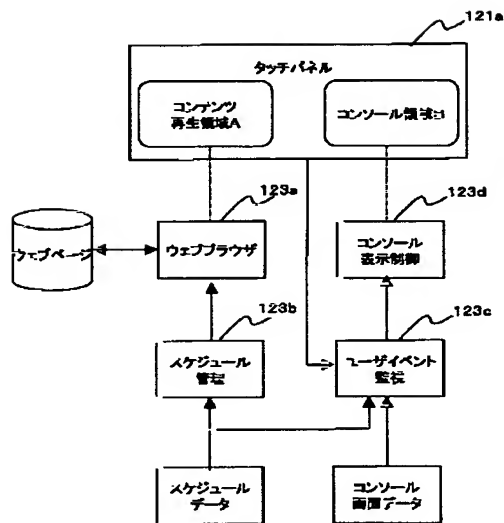
【図5】



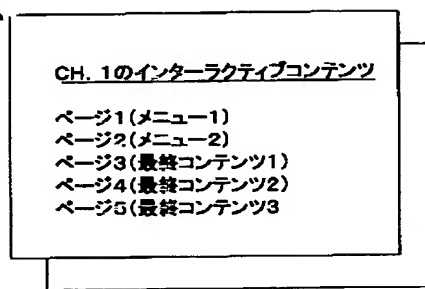
【図6】

プロモーション コンテンツの開始時刻	プロモーション コンテンツのURL
2000.11.20.12.00.00	http://www.sbc.co.jp/root/cst/main.html
2000.11.20.12.00.15	file://c:/root/cst01/main.html
2000.11.20.12.00.25	http://www.dcl.co.jp/root/cst/main001.html

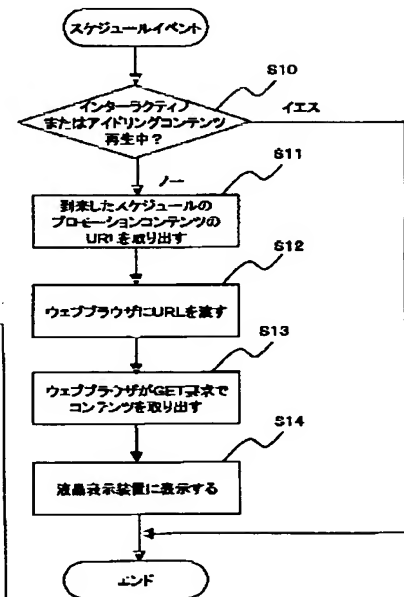
【図4】



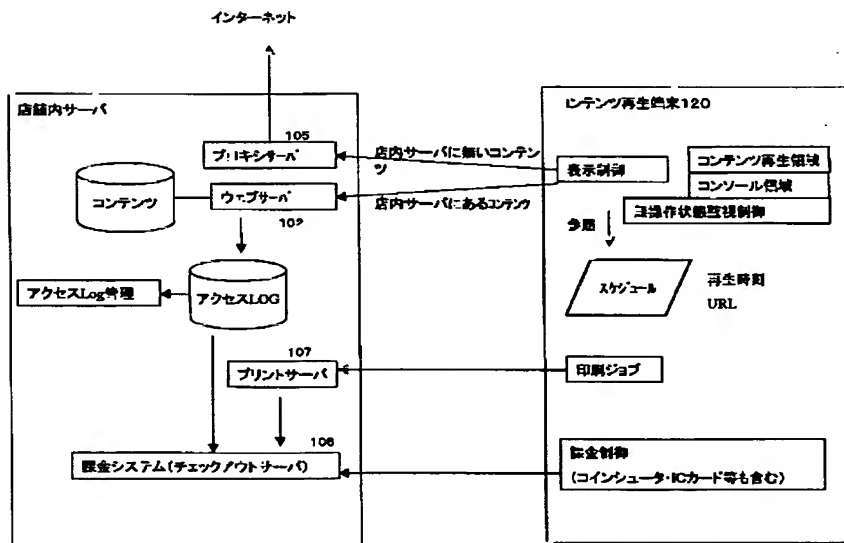
【図11】



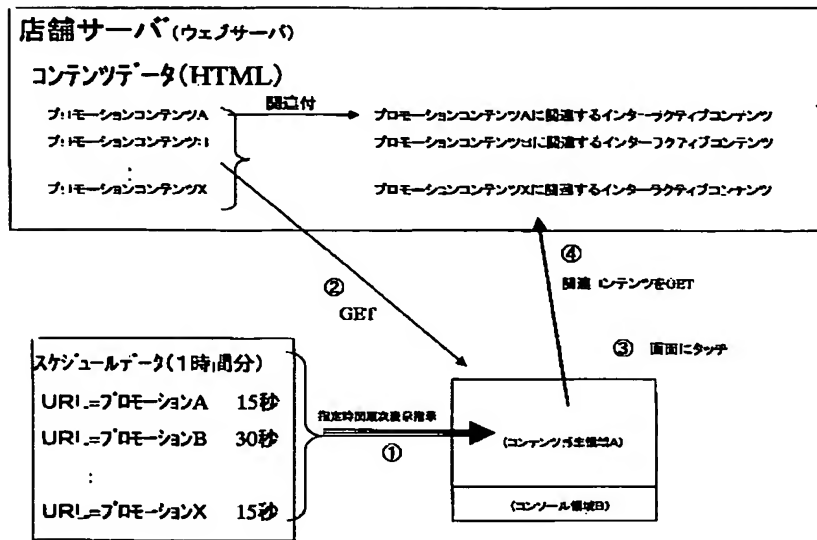
【図13】



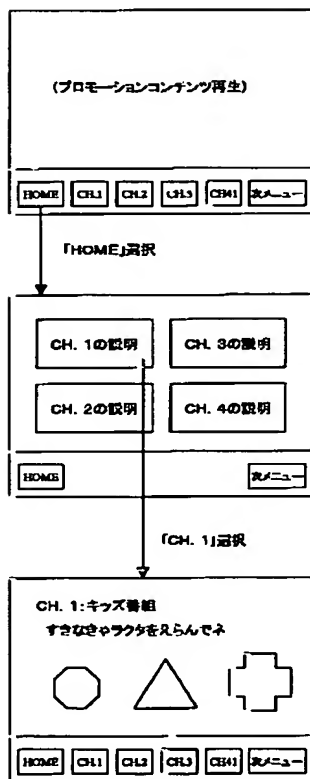
【図7】



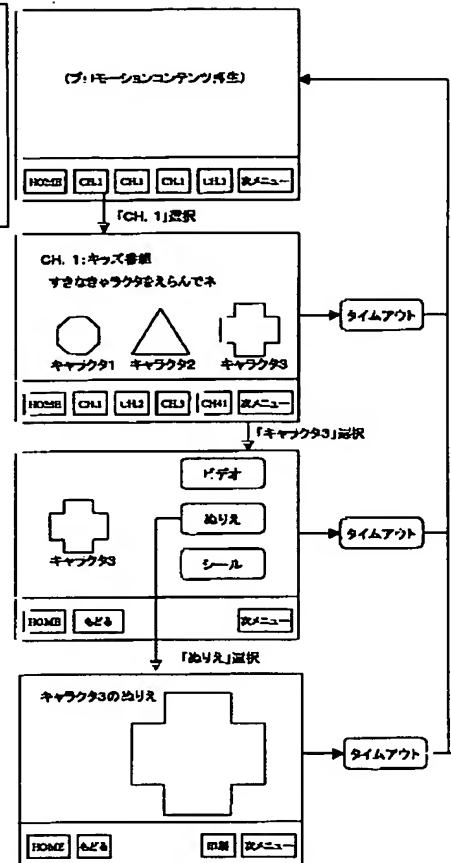
【図8】



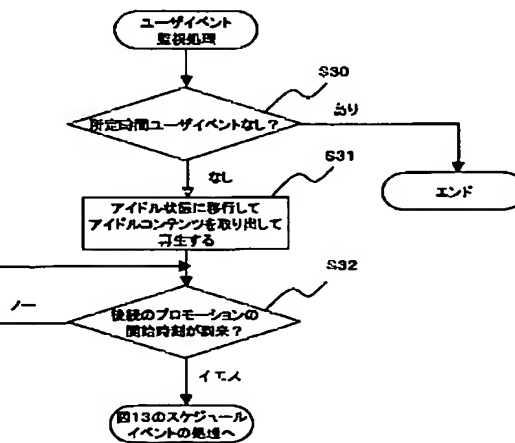
【図9】



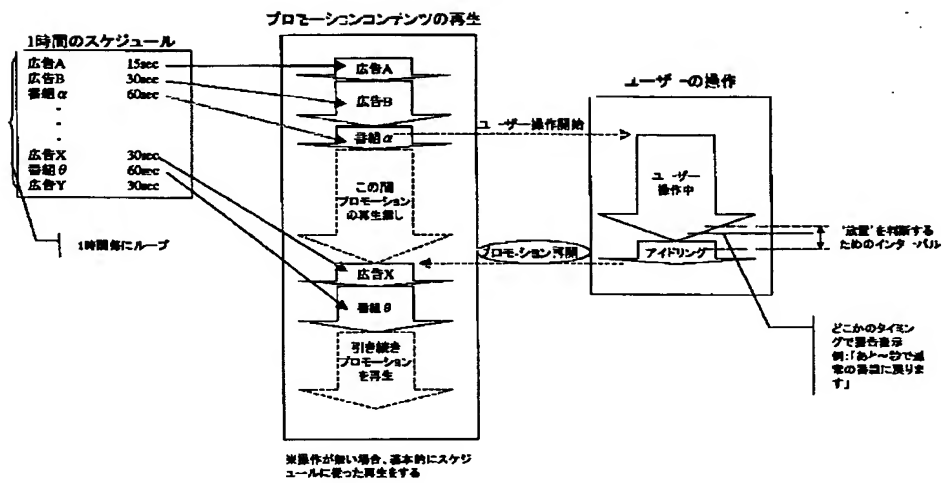
【図10】



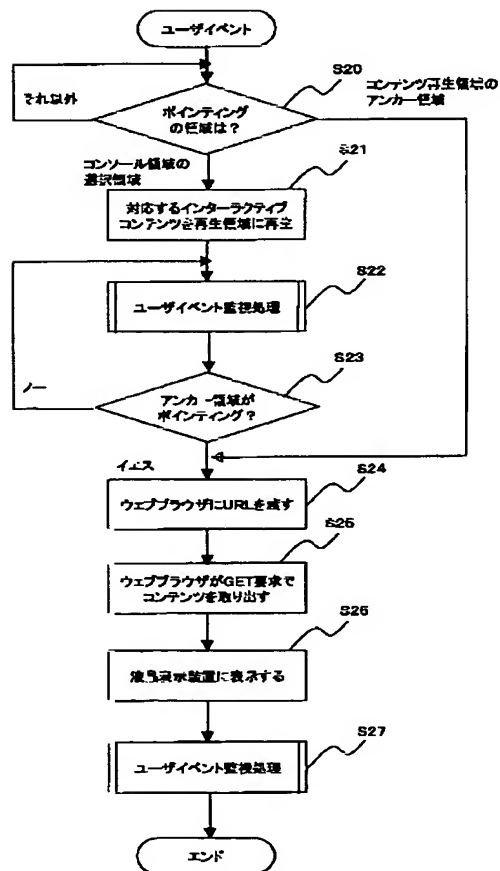
【図15】



【図12】



【図14】



フロントページの続き

(72)発明者 根上 健
東京都渋谷区東3丁目16番3号 株式会社
ブランドゥ内

(72)発明者 津田 佳英
東京都渋谷区東3丁目16番3号 株式会社
ブランドゥ内
Fターム(参考) 5C064 BA07 BB01 BC10 BC20 BC23
BD02 BD08

THIS PAGE BLANK (USPTO)